



# 佐高 SGH通信 2020

スーパー グローバル ハイスクール

No.38 (2020年9月28日発行)

## スリランカの小学生と2回目の交流を行いました ～宇都宮大学 UU-TEA Project と連携して～

令和2(2020)年9月18日(金)16～17時に、SGHクラブ(スリランカ班)の高校1,2年生14名が、画面対話を行うアプリであるZoomを使って、スリランカのエステート・タミルの子ども達と2回目の交流を行いました。今回も、宇都宮大学国際学部准教授の栗原俊輔先生や、その学生の方々の協力を得て実現しました。今回の交流先は、山間部のNuwara Eliya 県にあるDarawala 農園に住む約40名の小学1年生です。あいにく、現地が大雨だったためか通信がなかなか安定しませんでした。エステート・タミル※1は、「社会から取り残された紅茶農園」の労働者です。政府は行政サービスは必ずしも十分行き届かず、世界も彼らに無関心です。昨今のコロナ禍の中で、遠い日本の高校生が、この「取り残された」子どもたちと繋がることのできるのは、大変素晴らしい実践であると思いました。

佐野高校生たちは、子ども達と交流しながら、「かわいい!」「かわいい!」を連発していました。そして、「この子ども達のために何ができるのか?!」「この子ども達の後押しができる活動ができたら…」(2年 相田 紘夏さん)などと、佐野高校生はずっと考えてきています。今後の展開が、楽しみです。

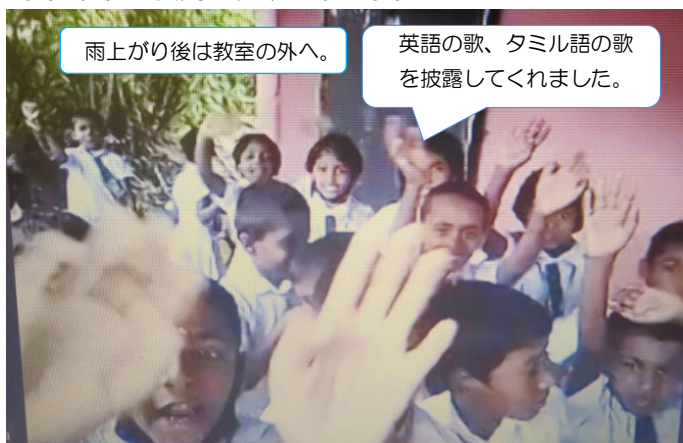
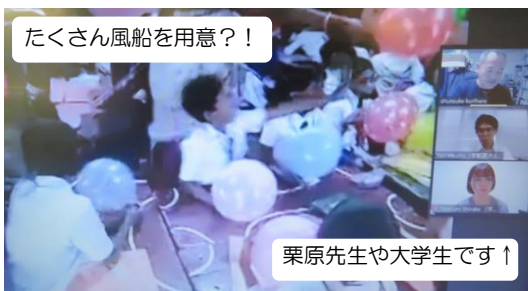
### ◇参加者

- ・宇都宮大学 栗原俊輔先生(国際学部准教授)
- ・栗原研究室 大学生17名(Zoomで適宜助言)
- ・Darawala 県の紅茶農園の小学生40名以上
- ・佐野高校 SGH クラブ(スリランカ班)14名
- ・SGHクラブ顧問 高久順 大嶋浩行

### ◇活動内容(英語)

- ・チームリーダー…大嶋 美聖乃さん(2年)
- ・司会進行…内田 小温さん(2年)
- (1) 高校生によるダンス披露
- (2) 高校生によるクイズ(言葉、文化)
- (3) 小学生による歌の披露

通信事情で双方向が難しく、他は省略しました



### ※1 エステート・タミルについて

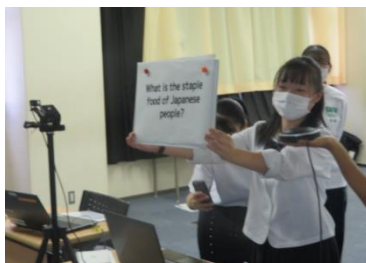
- ・インドから連れてこられた少数民族で、もともと国籍すら与えられず、市民としての権利も保障されてきませんでした。先月に出版された右の書籍に詳しい説明があります。
- ・最大の課題の一つは、子ども達の「限られた将来の選択肢」です。
- ・佐野高校の教育支援活動も、右書で紹介されています!



### ◆子どもたちが大好きなダンスを披露中



### ◆問題を出題(1年林美優さん)



### ◆これは何?「ピカチュウ!」「ピカチュウ!」

